

土佐産タルミ属 (*Lutianus*) の魚類に就いて

蒲原稔治

(高知大学文理学部生物学教室)

On the fishes of the genus *Lutianus* (Lutianidae) from Prov. Tosa, Japan

Toshiji KAMOHARA

(Biol. Lab., Lib. Arts Fac., Kochi Univ.)

最近約20年間にタルミ属 (*Lutianus*) に属する魚類を土佐の各地から14種採集した。それ等の中には土佐からは筆者が今回ここに初めて報告する2種の外に、最近種々の雑誌に載せたものもあり、土佐が分布の北限になると思われるものも6種に達する。日本産の記録のあるもので未だ土佐から採集し得ないものは *L. lutianus* BLOCH があるのみである。

筆者は先年 *L. erythropterus* BLOCH (ヨコタルミ) を *L. malabaricus* (BLOCH & SCHNEIDER) (クラカケタルミ) と誤認して発表した (高知大学研究報告、1951)。その後若魚ではあるが後者の標本を入手することが出来て、その訂正を行つた (高知大学、学術研究報告、1953)。こうした理由もあるので、ここに土佐産のタルミ属のものの再検討を試みることにした。

一般に本属の魚類は土佐では稀にしか漁獲されない物である。ただ *L. fulviflamma* (FORSKAL) (モンツキ) だけは沿岸や内湾にもかなり多く見られる。

標本は戦災前のもは全部焼失したので、今回記載に用いたものはその後採集したもののみである。本文の各種名の下には主に筆者の手元にある文献中の図のあるものを掲げた。数字の後の(大)は筆者の調べた標本の中の大形のものの意味である。分布は大体の範囲を示したものである。

土佐産タルミ属 (*Lutianus*) の種の検索表

- a¹……側線より上方の鱗は少くとも体の後部では斜行し、側線より下方のものは水平列をなす。
- b¹……脊鰭より前方の鱗はその前端は両眼間隔に達しない。
- c¹……側線より上方の鱗は前方のものは側線と平行して並び、後部のもののみ斜行する。脊鰭より前方の鱗は眼の後縁に達する。体色は脊部は褐色、下方は帯黄色を呈し、各鱗には1箇の黒色斑がある。眼の下方に1-2条の青色水平線のあるものがある ……………
…………… *argentimaculatus* (ゴマタルミ)
- c²……側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平である。
- d¹……体に暗色の横帯を有しない。
- e¹……頭に多数の縦走青色線がある。体側鱗には銀色を帯びた灰色斑があり、脊鰭前部軟条の下方の側線上に黒く縁取られた1乳白色斑を有する …… *rivulatus* (ホシタルミ)
- e²……頭に青色縦走線がなく、側線上に白色斑も有しない。
- f¹……体側に褐色斑がない。脊鰭は黒色で縁取られ、尾鰭は帯紫色である ……………
…………… *vaigiensis* (ドクギヨ)
- f²……脊鰭前部軟条の下方に1褐色斑がある。
- g¹……鋤骨歯は三角形の歯叢を形成し、その後方に1突出部がある。眼下部の中が狭い
…………… *fulviflamma* (モンツキ)
- g²……鋤骨歯は三角形の歯叢を形成し、その後方には突出部がない。眼下部の中は広い

- *monostigma* (イツテタルミ)
- b²..... 脊鰭より前方の鱗は両眼間隔に、或は眼の前部にまで延びる。
- h¹..... 鰓蓋前骨隅角の上方に大きい欠刻を有しない。体側に褐色の1縦帯があり、吻端から発し側線中部で終る..... *vitta* (タルミ)
- h²..... 鰓蓋前骨隅角の上方に1大欠刻がある。鰓蓋間骨には強い1棘を具える。
- i¹..... 体側に褐色斑がなく、9条の不明瞭な中断した暗色縦走帯がある..... *caeruleovittatus* (キユウセントアルミ)
- i²..... 体側に1褐色斑があるが、成長と共に消失する。
- j¹..... 体側に約7条の金色の縦走帯がある..... *rufolineatus* (キスジタルミ)
- j²..... 体側に6条の青色縦走帯がある..... *spilurus* (ロクセントアルミ)
- j³..... 体側に4条の青色縦走帯がある..... *kasmira* (スジタルミ)
- a²..... 鱗は側線より上方のものも、下方のものも斜行する。
- k¹..... 脊鰭軟条部の基底はその高さより長い。
- l¹..... 鰓蓋前骨隅角の上方に欠刻がない。尾鰭後縁は截形か、或は僅に凹形を呈する。巾の広い暗色帯が脊鰭から眼を通過し、上顎主骨に達する。尾柄には白色で縁取られた1黒色鞍状斑がある..... *erythropterus* (ヨコタルミ)
- l²..... 鰓蓋前骨隅角の上方に1大欠刻がある。尾鰭後縁は深く凹む。頭部に暗色帯を有しない。若魚では尾柄及び尾鰭は黒い..... *gibbus* (ヒメタルミ)
- k²..... 脊鰭軟条部は後方が尖り、その高さは基底長より大である。鰓蓋前骨隅角の上方は殆ど欠刻しない。
- m¹..... 各鱗の中央に暗色線があり、連続して側線に交る斜線をなす。尾柄の上部に1白色鞍状斑がある..... *malabaricus* (クラカケタルミ)
- m²..... 巾の広い3条の帯黒濃赤色の横帯があり、第1は脊鰭の前方部から眼を通過して吻端に達し、第3は脊鰭軟条部の直前から体の背方を後走し、尾柄から尾鰭下葉の先端に達する..... *sebae* (センネンダイ)
1. *Lutianus argentimaculatus* (FORSKAL) (ゴマタルミ)

Sciaena argentimaculata Forskal, Descript. Animal., 1775, pp. XI, 47. - *Lutianus argentimaculatus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 51, pl. 11, fig. 5. - *Lutjanus argentimaculatus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., Vol. 8, 1876-77, p. 74, pl. (46) 324, fig. 3; pl. (55) 333, fig. 1. - *Lutjanus argentimaculatus* 熊田頭四郎、南洋食用水族図説、昭和16年、pl. 82. - *Lutianus argentimaculatus* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1954, p. 255, pl. 37, fig. 664.

D. X, 13; A. III, 8-9 (大)、鰓耙6-7 (大)+8-17 (大) (小形の標本では少々不明瞭)、側線上の鱗45-48 (大)。体長は頭長の2.5-2.6倍、体高の2.5倍、頭長は眼径の4.2-4.8倍、両眼間隔の4 (大)-5.7倍、吻長の3-3.4倍、尾柄の高の3-3.1倍。

側線より上方の鱗列は体の前方のものは側線と平行し、後部のもののみ斜行する。側線より下方のものは水平に走る。脊鰭より前方の鱗は眼の後縁に達する。

体色は脊部は褐色、下方は帯黄色。各鱗には1箇の黒色斑があり、前後連つて鱗列に沿う黒色帯をつくる。胸鰭は黄色、その他の凡ての鰭は黒色であるが、ただ脊鰭、臀鰭両軟条部の後半及び尾鰭の中央軟条部は黄色。小形標本(105 mm)では脊鰭より前方の鱗は両眼を結ぶ線より稍

々後方に達する。体色は帯黄淡褐色で、体側に不明瞭な約10条の淡色横帯が見られる。凡ての鰭は体色と同様であるが、ただ背鰭棘部は褐色で縁取られ、腹鰭の先端部及び臀鰭の前半は褐色である。何れの標本でも眼下に水平の青色線は見られない。

須崎で105 mmのもの1尾、沖島で210 mmのもの1尾採集。

分布：土佐-アフリカ、濠洲、ポリネシア。

2. *Lutianus rivulatus* (CUVIER & VALENCIENNES) (ホシタルミ) (Fig. 1)

Diacope rivulata Cuvier, Hist. Nat. Poiss., vol. 2, 1828, p. 414, pl. 38. - *Lutianus rivulatus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 37, pl. 11, fig. 4. - *Lutjanus rivulatus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 73, pl. (69) 347, fig. 3. - *Lutjanus rivulatus* Fowler, Smiths. Inst. U. S. Nat. Mus., Bull. 100, vol. 11, p. 111, fig. 11. - *Lutianus rivulatus* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、p. 192, fig. — *Lutianus rivulatus* 岡田、内田、松原、日本魚類図説、昭和10年、p. 153, pl. 74, fig. 2. - *Lutianus rivulatus* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1950, p. 255, pl. 38, fig. 666.

D. X, 15 A. III, 8. 鰓耙6+13、側線上の鱗47。体長は頭長の2.5倍、体高の2.5倍、頭長は眼径の4.6倍、両眼間隔の4.3倍、吻長の3倍、尾柄の高の3.2倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平である。脊鰭より前方の鱗はその前端は両眼間隔に達しない。

体色は灰褐色で下方は淡い。体側鱗には銀色を帯びた灰色斑があり、脊鰭前部軟条の下方の側線上に黒く縁取られた1乳白色斑を有する。頭には多くの縦走青色線がある。凡ての鰭は黄褐色。高知市で193 mmのもの1尾採集。

分布：本州中部-紅海、アフリカ、メラネシア、ポリオシア。

3. *Lutianus vaiigiensis* (QUOY & GAIMARD) (ドクギヨ) (Fig. 1)

Diacope vaiigiensis Quoy & Gaimard, Voy. Uranie, Zool., pt. 7, 1824, p. 307. - *Lutianus vaiigiensis* Jordan & Thompson, Proc. U. S. Nat. Mus., vol. 39, 1911, p. 457, fig. 4. - *Lutjanus marginatus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 68, pl. (71) 349, fig. 2. - *Lutianus marginatus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 44, pl. 13, fig. 5. - *Lutianus vaiigiensis* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、p. 192, fig. - *Lutjanus vaiigiensis* 熊田頭四郎、南洋有毒魚類調査報告、昭和18年、p. 39, pl. 5, fig. 13. - *Lutianus vaiigiensis* Smith, The sea fishes of southern Africa, pl. 38, fig. 669; p. 256, text-fig. 669. - *Lutianus lineatus* Kamohara, Repts. Kochi Univ., Nat. Sci. no. 1, 1951, p. 3.

D. X, 15; A. III, 7. 鰓耙5+9-12、側線上の鱗48。体長は頭長の2.4-2.5倍、体高の2.5倍、頭長は眼径の3.4-3.5倍、両眼間隔の4(大)-5.6倍、吻長の3.2-4.2(大)倍、尾柄の高の2.6(大)-3.4倍。

側線より上方の鱗は斜行し、下方のものは水平に走る。脊鰭より前方の鱗は両眼の後縁を結ぶ線より後方に始まる。

体色は帯黄淡褐色で下方は淡い。体側に数条の黄色縦走帯がある。脊鰭は黒色で縁取られる。胸、腹、臀の三鰭は黄色、尾鰭は淡褐色で後縁は巾狭く淡色。

高知市で65 mmのもの1尾、室戸で約55 mmのもの2尾採集。なお須崎でも本種と考えられる43 mmのもの1尾を採集している。

分布：南日本—アフリカ、濠洲、ポリネシア。

4. *Lutianus fulviflamma* (FORSKAL) (モンツキ)

Sciaena fulviflamma Forskal, Descript. Animal., 1775, pp. XI, 45. - *Lutianus fulviflamma* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 41, pl. 12, fig. 6. - *Lutjanus fulviflamma* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 65, pl. (66) 344, fig. 3. - *Lutjanus russelli* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, pl. (22) 300, fig. 2. - *Lutianus russelli* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、p. 191, fig. - *Lutjanus fulviflamma* 熊田頭四郎、南洋食用水族図説、昭和16年、pl. 86. - *Lutjanus fulviflamma* 熊田頭四郎、南洋有毒魚類調査報告、昭和18年、p. 47, pl. 6, fig. 16. - *Lutianus fulviflamma* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1950, p. 254, pl. 38, fig. 659. - *Lutianus russellii* smith, ditto, p. 255, pl. 39, fig. 660.

D. X, 13-14 (大); A. III, 8. 鰓耙6+10、側線上の鱗49 (鰓耙及び鱗は大形の135mmのものによる)。体長は頭長の2.3-2.6 (大) 倍、体高の2.6 (大) - 2.8倍、頭長は眼径の3.4-4.4 (大) 倍、両眼間隔の3.5-4.2 (大) 倍、吻長の2.8倍、尾柄の高の2.8 (大) - 3.4倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平である。脊鰭より前方の鱗はその前端は両眼間隔に達しない。鋤骨歯は三角形の歯叢を形成し、その後方に1突出部がある。眼下部の巾は狭い。

体色は脊部は黄褐色で体側及び下方は白い。脊鰭前部軟条の下方の側線上に眼径より少々大きい褐色斑がある。胸、腹、臀の三鰭は暗色、脊、尾の二鰭は褐色。小形のもの(50mm)では体側の褐色斑は略々眼径大であり、体色は褐色で、腹鰭の前縁が褐色を呈する。

高知市で50-135mmのもの数尾採集。この記載は50及び135mmの2尾の標本によつたものである。

分布：南日本、釜山—紅海、アフリカ、濠洲、ポリネシア。

5. *Lutianus monostigma* (CUVIER & VALENCIENNES) (イツテンタルミ)

Mesoprion monostigma Cuvier, Hist. Nat. Poiss., vol. 2, 1828, p. 446. - *Lutianus lioglossus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 70, pl. (66) 344, fig. 4. - *Lutianus lioglossus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 39, pl. 12, fig. 1. - *Lutjanus monostigma* Fowler, The fishes of Oceania, 1928, p. 202, pl. 18, B.

D. X, 14 A. III, 8. 鰓耙7+13、側線上の鱗47。体長は頭長の2.7倍、体高の2.3倍、頭長は眼径の3.3倍、両眼間隔の4倍、吻長の3倍、尾柄の高の2.5倍。頗る前種に似るが、鋤骨歯は三角形の歯叢を形成するのみで後方に突出部がないこと、眼下部の巾の広い点等で区別される。

体色は淡褐色で下方は淡い。鰭は凡て淡黄色。脊鰭前部軟条の下方の側線上に略々眼径大の1褐色斑が存する。

須崎で66mmのもの1尾採集。従来沖縄以南から知られていたものである。

分布：土佐—紅海、マダガスカル、メラネシア、ミクロネシア、ポリネシア。

6. *Lutianus vitta* (QUOY & GAIMARD) (タルミ)

Serranus vitta Quoy & Gaimard, Voy. Uranie, Zool., 1824, pl. 58, fig. 3. - *Diacope vitta* Schlegel, Fauna Japonica, Poiss., pt. 1, 1842, p. 13, pl. 6, fig. 4. -

Lutianus vitta Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 46, pl. 14, fig. 2. - *Lutjanus vitta* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 51, pl. (62) 340, fig. 5. - *Lutianus vitta* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、p. 192. fig.

D. X, 13; A. III, 8. 鰓耙 6 + 13、側線上の鱗50。体長は頭長の2.8倍、体高の2.9倍、頭長は眼径の4倍、両眼間隔の3.8倍、吻長の3.3倍、尾柄の高の2.9倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平である。脊鰭より前方の鱗は両眼間隔にまで延びる。鰓蓋前骨隅角の上方に大欠刻がなく、僅に凹む。

体色は黄褐色で下方は淡くて銀色を帯びる。各鱗には中央に巾の狭い暗色帯があり、それ等は連絡して鱗列に沿い帯状をなすが腹側には之を見ない。体側に略々瞳孔の中の褐色の1縦帯があり、吻端から眼を通過し、側線の中部下で終る。脊鰭、尾鰭は淡褐色、その他の鰭は淡色。

この記載は高知市浦戸で採集した255mmのものに就てである。本種はモンツキ以外の他のもののようにそう稀ではないが、沢山まとまつて揚げられることもない。

分布：本州中部—印度、濠洲、メラネシア、ポリネシア。

7. *Lutianus caeruleovittatus* (CUVIER & VALENCIENNES) (キユウセントラルミ)

Diacope caeruleovittatus Valenciennes, Hist. Nat. Poiss., vol. 6, 1831, p. 530.

D. XI, 13; A. III, 8. 鰓耙 7 + 14、側線上の鱗58。体長は頭長の2.7倍、体高の2.6倍、頭長は眼径の3.8倍、両眼間隔の4倍、吻長の2.8倍、尾柄の高の3.1倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平である。脊鰭より前方の鱗はその前端が両眼間隔にまで延びる。鰓蓋前骨隅角の上方に1大欠刻があり、鰓蓋間骨には強大な1棘を具える。

体色は黄褐色で、体側に褐色斑がなく、不明瞭な中断した暗色縦走帯がある。凡ての鰭は黄色。

柏島で205mmのもの1尾採集。なお高知市御豊瀬(ミマセ)で恐らく本種と考えられる鱗の全部剥がれた140mmのものを1尾採集している。これでは凡ての鰭は黄色であるが、脊鰭は褐色で縁取られている。

分布：土佐—マダガスカル。

8. *Lutianus rufolineatus* (CUVIER & VALENCIENNES) (キスジタルミ)

Diacope rufolineata Valenciennes, Hist. Nat. Poiss., vol. 6, 1830, p. 531. -

Lutjanus amboinensis Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 7, 1873-76, pl. (40)

318, fig. 2. - *Lutianus rufolineatus* Kamohara, Repts. Kochi Univ., Nat. Sci., no. 2, 1952, p. 3.

D. XI, 13; A. III, 8. 鰓耙 6 + 13、側線上の鱗50。体長は頭長の2.5倍、体高の2.6倍、頭長は眼径の3.7倍、両眼間隔の4.6倍、吻長の3.4倍、尾柄の高の3.1倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平に走る。脊鰭より前方の鱗の前端は両眼間隔にまで延びる。鰓蓋前骨隅角の上方に1大欠刻がある。鰓蓋間骨には強い1棘を具える。

体色はバラ色を呈し、体側に約7条の黄金色の縦走帯がある。脊鰭前部軟条下に1淡褐色斑があるが成長と共に消滅する。凡ての鰭は黄色。

須崎で115mmのもの1尾採集。

分布：土佐—東印度、メラネシア、ポリネシア。

9. *Lutianus spilurus* (BENNETT) (ロクセントラルミ)

Diacope spilurus Bennett, Proc. Zool. Soc. London, 1832, p. 182. - *Lutianus*

quinguelineatus Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 40, pl. 12, fig. 3. - *Lutianus quinguelineatus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 56, pl. (65) 343, fig. 4. - *Lutjanus spilurus* 熊田頭四郎、南洋食用水族図説、昭和16年、pl. 83. - *Lutjanus spilurus* Fowler, Smiths. Inst. U. S. Nat. Mus., Bull. 100, vol. 11, 1931, p. 153, fig. 13.

D. X, 14; A. III, 8. 鰓耙7+14(大)-15、側線上の鱗49。体長は頭長の2.8-2.9倍、体高の2.5-2.6倍、頭長は眼径の3.5-4.1(大)倍、两眼間隔の3.8-4.1(大)倍、吻長の3.4(大)-3.8倍、尾柄の高の2.8-2.9倍。

側線より上方の鱗は全部斜行し、下方のものは水平に走る。脊鰭より前方の鱗の前端は眼の前縁にまで延びる。鰓蓋前骨隅角の上方に1大欠刻がある。鰓蓋間骨には強い1棘を具える。

体色は黄褐色で下方は黄色、頭部は赤色を帯びる。凡ての鱗は黄色。体側に頭部から発する6条の青色縦帯がある。脊鰭前部軟条の下方の側線との間に眼径大の1褐色斑があるが成長と共に消失する。

高知市浦戸で225mmのもの1尾、須崎で130mm及び190mmのもの各々1尾採集。この記載は225mmと130mmの2箇の標本によつたものである。

分布：土佐-紅海、濠洲、ポリネシア。

10. *Lutianus kasmira* (FORSKAL) (スジタルミ)

Sciaena kasmira Forskal, Descript. Animal., 1775, pp. XI, 46. - *Lutianus quinguelinear* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 46, pl. 14, fig. 1. - *Lutianus bengalensis* Day, Fishes of India, vol. 1, 1875, p. 33, pl. 10, fig. 4. - *Lutianus kasmira* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、p. 191, fig. - *Lutjanus kasmira* Fowler, Smiths. Inst. U. S. Nat. Mus., Bull. 100, vol. 11, 1931, p. 157, fig. 14. - *Lutjanus kasmira* 熊田頭四郎、南洋有毒魚類調査報告、昭和18年、p. 50, pl. 7, fig. 19. - *Lutianus kasmira* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1950, p. 254, pl. 39, fig. 657.

D. X, 14; A. III, 8. 鰓耙7+14、側線上の鱗50(以上は全部138mmの大形標本による)。体長は頭長の2.5-2.8(大)倍、体高の2.4(大)-3倍、頭長は眼径の3.3(大)-3.6倍、两眼間隔の4.5-5(大)倍、吻長の3.1(大)-3.6倍、尾柄の高の2.9(大)-3.6倍。

ロクセントアルミに酷似するが体色、斑紋を異にする。体色は黄褐色で、体側に吻端附近から発する4条の両側を黒く縁取られた青色縦走帯がある。頭は紅紫色を帯びる。脊鰭は黄褐色で、時々巾の広い褐色の縁取がある。他の凡ての鱗は黄色、脊鰭前部軟条の下方の側線の上方に眼径大の1淡褐色斑があり、これは若魚では鮮明であるが、成長と共に消滅する。小形のもの(55mm)では脊鰭に小黑点が密布し、脊鰭に褐色の縁取がない。

須崎から138mmのもの1尾、室戸から55mmのもの1尾採集。

分布：駿河、富山-紅海、アフリカ、濠洲、ポリネシア。

11. *Lutianus erythropterus* (BLOCH) (ヨコタルミ) (Fig. 2)

Lutjanus erythropterus Bloch, Naturg. Ausland. Fische, vol. 4, 1790, p. 115, pl. 249. - *Lutianus erythropterus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 32, pl. 10, figs. 1-2. - *Lutjanus annularis* Day, Fauna Brit. India, Fishes, vol. 1, 1889, p. 466, fig. 147. - *Lutjanus chirtah* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 7,

1873-76, pl. (23) 301, fig. 1. - *Lutianus erythropterus* Fowler, Smiths. Inst. U. S. Nat. Mus., Bull. 100, vol. 11, 1931, p. 165, fig. 15. - *Lutjanus erythropterus* 熊田頭四郎, 南洋食用水族図説, 昭和16年, pl. 84 - *Lutianus malabaricus* Kamohara, Repts. Kochi Univ., Nat. Sci., no. 1, 1951, p. 3, pl. 1, fig. 2.

D. X, 14; A. III, 9. 鰓耙 5 - 6 + 13 - 14, 側線上の鱗 50 - 53. 体長は頭長の 2.4 - 2.6 倍、体高の 2 - 2.3 倍、頭長は眼径の 3.9 - 5 倍、両眼間隔の 4.7 - 5.2 倍、吻長の 2.9 - 3.1 倍、尾柄の高の 2.7 - 3.1 倍。

鱗は側線より上方のものも下方のものも斜行する。脊鰭軟条部の基底はその高さより長い。鰓蓋前骨隅角の上方に欠刻がない。尾鰭後縁は僅に凹形を呈する。

体色は一様に赤く、尾柄の上部に鞍状の 1 黒斑があり、その前後は白い。70mm 位以下の若魚では尾柄に黒色横帯をなしているが、次第に鞍状となり、遂に消失する。巾の広い褐色帯が吻端から発し、眼を通過し、脊鰭起部に達する。

高知市で 140, 184, 240mm のもの 3 尾採集。

分布: 南日本 - アフリカ、濠洲、メラネシア、グアム。

12. *Lutianus gibbus* (FORSKAL) (ヒメタルミ)

Sciaena gibba Forskal, Descript. Animal., 1775, pp. IX, 46. - *Lutjanus bottonensis* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 7, 1873-76, pl. (37) 315, fig. 3. - *Lutianus gibbus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 43, pl. 13, figs. 2-3. - *Lutianus gibbus* Fowler, The fishes of Oceania, 1928, p. 201, pl. 18, A. - *Lutianus gibbus* 熊田頭四郎, 南洋食用水族図説, 昭和16年, pl. 81. - *Lutianus gibbus* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1950, p. 254, pl. 37, fig. 662.

D. X, 13-14 (大); A. III, 8. 鰓耙 8 - 10 (大) + 19 - 20 (大)、側線上の鱗約 48. 体長は頭長の 2.5 - 2.7 (大) 倍、体高の 2.1 (大) - 2.5 倍、頭長は眼径の 2.9 - 3.2 (大) 倍、両眼間隔の 4.1 (大) - 5 倍、吻長の 3.2 (大) - 3.3 倍、尾柄の高の 2.9 (大) - 3.3 倍。

鱗は側線より上方のものも下方のものも斜行する。脊鰭軟条部の基底はその高さより長い。鰓蓋前骨隅角の上方に 1 大欠刻がある。尾鰭の後縁は深く凹形を呈する。

体色は黄褐色で下方は淡色。小形 (63mm) のものでは胸鰭は黄色、他の凡ての鰭は淡褐色である。尾柄部は黒い。大形 (95mm) のものでは尾柄部は褐色で、尾鰭の中央軟条部は黒い。脊鰭は巾広く黒色で縁取られる。若魚では尾柄及び尾鰭が黒い。

室戸で 80-92 mm のもの 3 尾、須崎で 95mm のもの 1 尾採集。なお紀州白浜から約 60 mm のもの 3 尾を入手している。本種は従来琉球以南から知られていたものである。

分布: 紀州 - アフリカ、濠洲、ポリネシア。

13. *Lutianus malabaricus* (BLOCH & SCHNEIDER) (クラカケタルミ)

Sparus malabaricus Schneider, Syst. Ichth. Bloch, 1801, p. 278. - *Lutianus malabaricus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 31, pl. 9, fig. 4. - *Lutianus malabaricus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 7, 1873-76, pl. (15) 293, fig. 1. - *Lutianus dodecacanthus* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 33, pl. 10, fig. 3. - *Lutianus dodecacanthus* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 7, 1873-76, pl. (24) 302, fig. 2. - *Lutianus dodecacanthoides* Bleeker, Atlas

Ichth. Neerland., vol. 7, 1873-76, pl. (18) 296, fig. 2. - *Lutianus malabaricus* Kamohara, Repts. Kochi Univ., vol. 2, no. 4, 1953, p. 6.

D. XI, 14; A. III, 8. 鰓耙 6 + 14、側線上の鱗約50。体長は頭長の2.4倍、体高の2.3倍、頭長は眼径の3.2倍、両眼間隔の4倍、吻長の3.6倍、尾柄の高の2.9倍。

鱗は側線より上方のものも下方のものも斜行する。脊鰭軟条部は後方へ鋭く尖り、その高さは基底長と略々同長である。成長したものでは基底長より大となる。

体色は一様に赤く、下方は淡い。各鰭の中央に暗色線があり、連続して側線と交る斜線をなす。脊鰭直後の尾柄上に鞍状の1白色斑がある。鰭は凡て淡赤色、脊鰭及び尾鰭後縁には巾の狭い黒色の縁取がある。臀鰭の第2と第3棘の間の皮膜は黒く、同軟条部の前外縁は巾広く黒い。

高知市御畳瀬(ミマセ)で98mmのもの1尾採集。

分布: 土佐—印度。

14. *Lutianus sebae* (CUVIER & VALENCIENNES) (センネンダイ)

Diacope sebae Cuvier, Hist. Nat. Poiss., vol. 2, 1828, p. 411. - *Lutjanus sebae* Bleeker, Atlas Ichth. Ind. Neerland., vol. 8, 1876-77, p. 62, pl. (72) 350, fig. 2. - *Lutianus sebae* Day, Fishes of India, pt. 1, 1875, p. 30, pl. 9, fig. 3. - *Lutianus sebae* 田中茂穂、水産動植物図説、昭和8年、fig. 及口絵 - *Lutjanus sebae* 熊田頭四郎、南洋食用水族図説、昭和16年、pl. 79. - *Lutianus sebae* Smith, The sea fishes of southern Africa, 1950, p. 255, pl. 97, fig. 665.

D. XI, 15. A. III, 10. 鰓耙 5 + 8、側線上の鱗約47。体長は頭長の2.2(大) — 2.4倍、体高の2.1(大) — 2.2倍、頭長は眼径の3.4 — 4(大)倍、両眼間隔の5.1(大) — 5.4倍、吻長の3.4 — 3.6(大)倍、尾柄の高の3.3(大) — 3.4倍。

鱗は側線より上方のものも下方のものも斜行する。脊鰭軟条部の後方は尖り、その高さは基底長より大である。鰓蓋前骨隅角の上方は殆ど欠刻しない。

体色は美紅色で3条の帯黒濃赤色帯が脊鰭棘部から発する。その最前の上は脊鰭の前部から眼を通過して吻端に、中央の上は腹鰭の後方に、最後のものは脊鰭軟条部の直前から体の背方を後走し、尾柄から尾鰭下葉の先端に達する。腹鰭は黒く、脊鰭軟条部及び臀鰭の前縁部は黒い。尾鰭両葉の先端も黒色。

高知市浦戸で85, 109, 117mmのもの3尾採集。この記載は85及び117mmの標本によつたものである。

分布: 南日本—紅海、アフリカ、濠州、メラネシア。

Résumé

I have obtained a large number of fishes referable to the genus *Lutianus* from various localities of Prov. Tosa, Japan, during the past some twenty years. The genus embraces 14 species, among which the following 6 seem to be the northern limit of distribution: *L. argentimaculatus* (FORSKAL), *L. monostigma* (CUVIER & VALENCIENNES), *L. caeruleovittatus* (CUVIER & VALENCIENNES), *L. rufolineatus* CUVIER & VALENCIENNES, *L. spilurus* (BENNETT) and *L. malabaricus* (BLOCH & SCHNEIDER).

L. gibbus (FORSKAL) ranges northwards to Prov. Kii. *L. vaiigiensis* (QUOY & GAIMARD), *L. rivulatus* (CUVIER & VALENCIENNES), *L. fulviflamma* (FORSKAL), *L.*

vitta (QUOY & GAIMARD), *L. kasmira* (FORSKAL), *L. erythropterus* BLOCH and *L. sebae* (CUVIER & VALENCIENNES) range farther northwards in southern Japan. Two species, *L. monostigma* (CUVIER & VALENCIENNES) and *L. gibbus* (FORSKAL) are the first records to Prov. Tosa.

Generally speaking all the species except *L. fulviflamma* (FORSKAL) whose adult and young are very common on the shore, are rarely seen in the province.

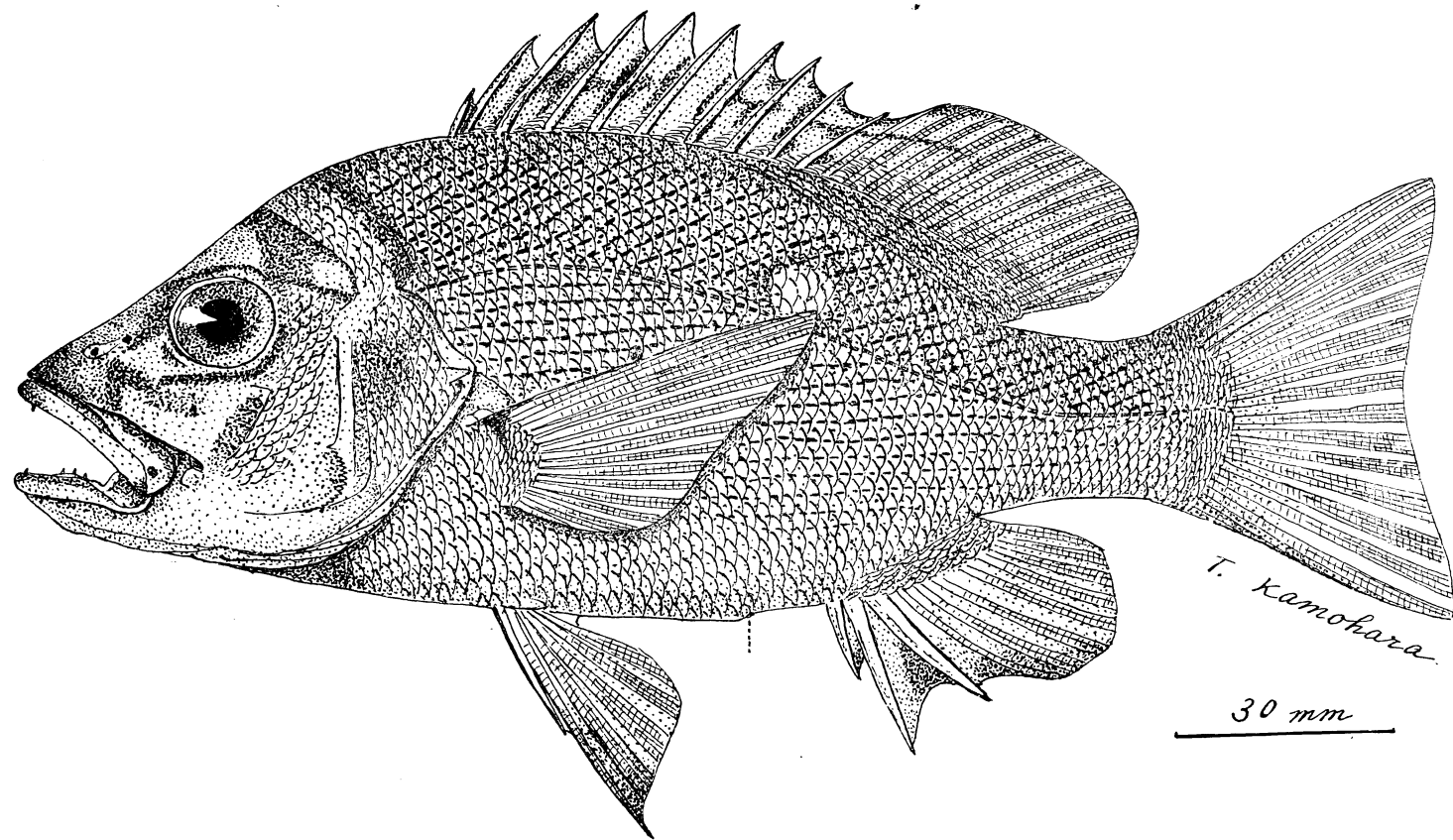


Fig. 1 ホシタルミ *Lutianus rivulatus* (CUVIER & VALENCIENNES)

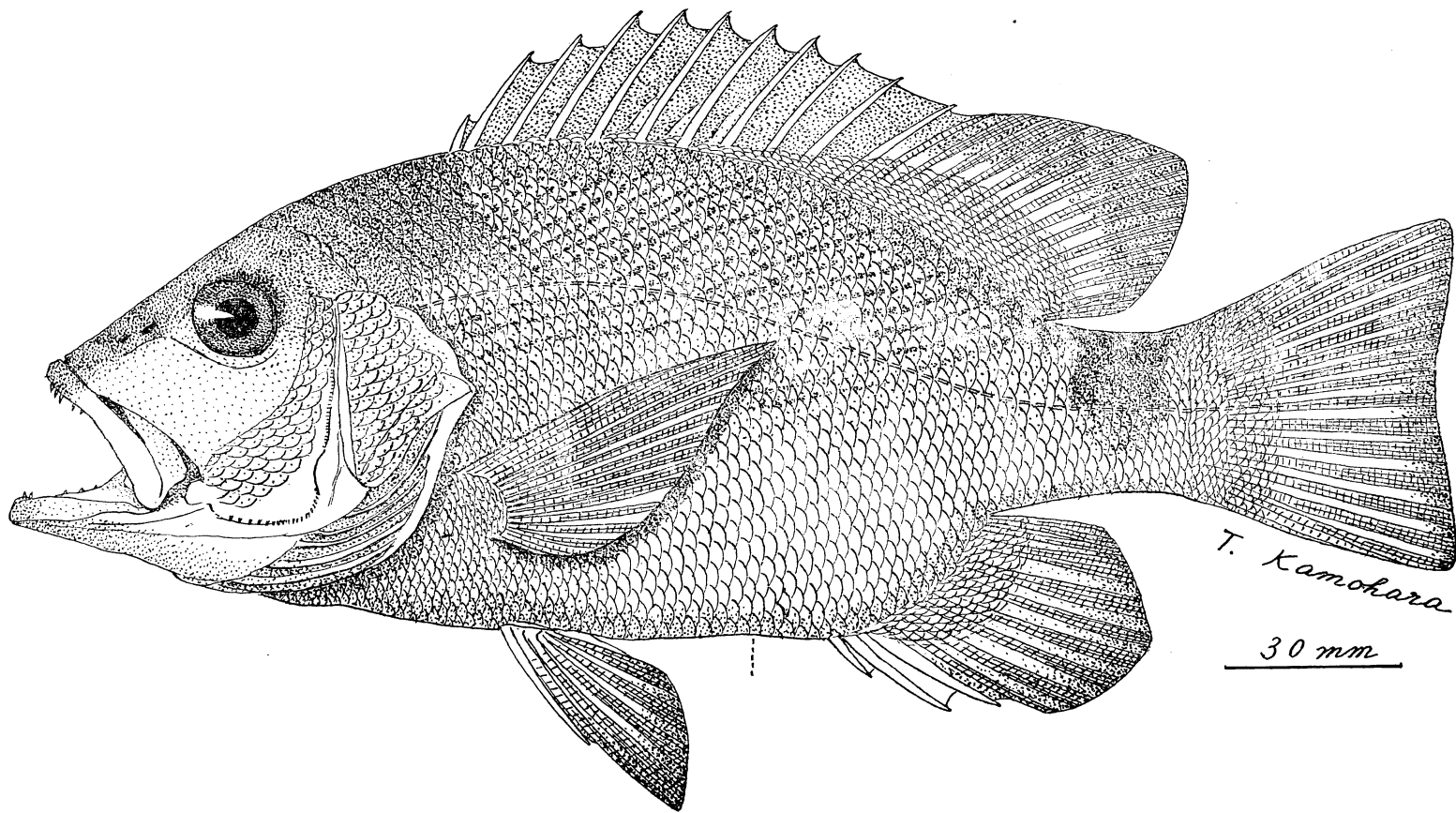


Fig. 2 ヨコタルミ *Lutianus erythropterus* Bloch